

一般質問 (2)



西東京市民会館 (田無町4丁目)

市イメージアップ戦略を... 人口減少社会を見据え、安定財源の確保、地域活性化のため、市内外に市の魅力を戦略的に発信する「シティプロモーション」の導入を求めらる。

人口減少社会での安定財源確保・地域活性化対策が重要である!

佐藤 公男(公明)

市イメージアップ戦略を... 人口減少社会を見据え、安定財源の確保、地域活性化のため、市内外に市の魅力を戦略的に発信する「シティプロモーション」の導入を求めらる。

市民の市への愛着度を高め、市の魅力の戦略的な発信は大変重要である。市民会館の長寿命化の検討

先般提案した市民会館の長寿命化の検討状況は、耐震補強工事と長寿命化、建てかえも含めたあ

蓄積した市民の健康診査データを疾病予防対策に生かせ!

藤田 美智子(公明)

蓄積した市民の健康診査データ・レセプトデータを活用した疾病予防対策への取り組みを問う。

糖尿病の重篤化が想定される対象者に、保健指導による生活習慣の改善を試行的に実施していく。

健康都市にふさわしい①予防接種事業の効果的推進②がん検診の精密度上昇③ロコモティブシンドロームの周知方法を問う。

健康・子育て応援システム「ワークチンマネージャー」を活用し、接種率向上と事業費の適正な執行に努める。②働く世代の女性支援のがん検診事業等、受診率向上の成果を分析し、

老朽化した公共施設の整備が急務 障がい者就業施設の現状を指摘

小幡 勝己(公明)

市財政の分析と、普通交付税が5.8%減、厳しい市財政の見通しを問う。

経常収支比率が、94.4%で合併算定替えの縮減などで普通交付税が減少。財政の硬直化は進み当面厳しい状況が続く。

4次行革の実効性と、主な取り組みを問う。



下野谷遺跡公園 (東伏見6丁目)

らゆる検証を行い、総合的に判断する。

複数手段による防災情報提供アプリ、防災情報カードの検討状況は、また、新たにこみ収集力レンダーへの防災情報の掲載を提案する。

防災情報アプリは検討を行う。防災情報カードは9月7日に行う総合防災訓練で配布するリーフレットに掲載した。こみ収集力レンダーへの掲載は、家庭の防災力の向上につながるの検討する。

小宮山印刷前、谷戸町コープ前、東京街道のゲリラ豪雨対策を求めらる。

小宮山印刷前は排水溝の増設を含め検討する。コープ前は現在対策工事中である。東京街道は貯留槽設置場所を含め検討する。

置は、総合管理計画との整合性を図る。

近隣市と比べて市内にある障がい者就業施設が極端に少ない。就業継続支援B型事業所の場合、市内に住む4割が他市の施設を利用している。

市内福祉作業所の定員がいっぱいで、受け入れを増やす対応も限界に達している。民間活力を導入し、ニーズに備える。

都市計画道路3・4・9号線の状況は、谷戸新道、調布保谷線間が間もなく認可予定。

チャイルドファーストの姿勢で 児童虐待撲滅に覚悟を持って臨め

納田 さおり(無所属)

児童虐待の撲滅に向けて市内中学生の虐待自殺のような事件を二度と繰り返さないために、覚悟を持って体制構築が必要だ。教職員が自己判断に陥らず適切に通告することの重要性は以前指摘した。通告システムをどう構築するのか。

子どもの命を守ることを第一に、毅然とした態度で保護者に臨むように指導を徹底していく。

児童虐待撲滅都市宣言を発し強い決意で臨め。飲料水の防災備蓄を!

広島市の土砂災害の避難生活で脱水症状が多発し、真夏の災害時には飲料水が欠かせないことを物語った。飲料水備蓄を強く求める。

浄水所からの給水・スタンドパイプ等で購入。子ども・子育て新制度

新制度の基準条例は全て国基準とし、市の自律性がなかった。将来的に保



東大生態調和農学機構 (旧東大農場、緑町1丁目)

家庭教育支援条例の制定を! 学童クラブで配達弁当の実現を!

森田 いさお(新生)

家庭教育力向上の具体的な施策について問う。

家庭学習の啓発を目的とした乳幼児からの親子コンサートを実施予定。虐待防止には、親への支援が必要だ。家庭教育支援条例の制定が必要と考

健康寿命の長寿命化のための介護予防運動講座と介護ボランティア制度の検討状況について問う。

元気な高齢者向けの介護予防講座は、体力増進のための体操・筋力トレーニング等を行っている。

たんぼぼにて、虐待防止委員会が開催されていないと聞いているが、把握

しているか。

開催されていない。都と連携して指導する。

学童クラブの利用時間の延長と長期休暇中の配達弁当を実現するべきと考

課題があるため、検証が必要と考えている。

ごみ減量対策として①店舗兼住居にお住まいの方のごみ収集の現状は。②年末年始の臨時のごみ収集日を設けるべきと考

子どもの命を守る 学校の統廃合は意向を尊重せよ

小峰 和美(新生)

市内の中学生が継父の虐待を苦に自殺するとい

う大変ショッキングで痛ましい事件が起きた。再三にわたり警鐘を鳴らしてきたが、なぜ起きたのか。

教育委員会では研修等で虐待防止を啓発してきたが、教員一人一人の心に届き、自分の学級でも起こり得るとの認識を持たせるまでに至らなかった。何があっても命が大事というメッセージを送り、再発防止策を学校に徹底していく。

合併により学校の統廃合はやむを得ないと考えるが、生徒や保護者の立場に立ってしっかりと丁寧な対応をとる必要があること

は言うまでもない。また、児童や保護者の意向を最大限に尊重することは学校教育の本旨である。

泉小学校の全児童が同じ学校に就学することを可能とするのは住吉小学校ということで指定校とした。60%の子が他校を希望している。行きたいところに行かせてあげたい。

家庭での教育力向上を目指して、他市では校区を越えた保護者の交流事業やさまざまな学習・啓発事業などを展開している。本市では取り組まないのか。

家庭教育事業を考